

■令和3年第1回定例会(2月26日～3月24日) 本会議で審議された議案とその結果

議案番号	付議事件名	議決結果
承第1号	専決処分の承認について 令和2年度美濃市一般会計補正予算(第10号)	承認
議第1号	令和3年度美濃市一般会計予算	可決
議第2号	令和3年度美濃市国民健康保険特別会計予算	可決
議第3号	令和3年度美濃市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議第4号	令和3年度美濃市下水道特別会計予算	可決
議第5号	令和3年度美濃市介護保険特別会計予算	可決
議第6号	令和3年度美濃市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議第7号	令和3年度美濃市病院事業会計予算	可決
議第8号	令和3年度美濃市上水道事業会計予算	可決
議第9号	令和2年度美濃市一般会計補正予算(第11号)	可決
議第10号	令和2年度美濃市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議第11号	令和2年度美濃市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議第12号	令和2年度美濃市下水道特別会計補正予算(第2号)	可決
議第13号	令和2年度美濃市介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議第14号	令和2年度美濃市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第15号	令和2年度美濃市病院事業会計補正予算(第4号)	可決
議第16号	令和2年度美濃市上水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第17号	美濃市職員の配偶者同行休業に関する条例について	可決
議第18号	美濃市債権管理条例について	可決
議第19号	美濃市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	可決
議第20号	美濃市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第21号	美濃市福祉会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第22号	美濃市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第23号	美濃市国民健康保険条例及び美濃市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決
議第24号	美濃市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決
議第25号	美濃市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決
議第26号	美濃市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第27号	美濃市第6次総合計画基本構想の策定について	※可決
議第28～38号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議第39号	美濃市公平委員会委員の選任について	同意
議第40号	美濃市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	※否決
議第41号	美濃市教育長の任命について	同意
市議第1号	専決処分事項の指定についての一部改正について	可決
市議第2号	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例について	※否決

※印は、議長による裁決権が行使されました。

今定例会では、議第27号、議第40号及び市議第2号の3案件について表決したところ、可否同数となったため、地方自治法第116条第1項の規定により、議長による裁決権が行使されました。

★裁決権とは：『通常は議長に表決権はありませんが、可否同数の場合だけ、可決又は否決を決めることができる裁決権が認められています。』

令和3年第2回臨時会・第3回定例会の日程

※令和3年度議会人事(議長・副議長・監査委員選任) ※補正予算、条例の制改定等について審議します。

第2回臨時会
・5月13日(木)10:00 本会議

第3回定例会
・6月7日(月)10:00 本会議
・6月21日(月)10:00 質疑・一般質問
・6月22日(火)10:00 一般質問
・6月23日(水)10:00 総務産業建設常任委員会
・6月24日(木)10:00 民生教育常任委員会
・6月28日(月)10:00 本会議

★編集後記★

これまで、「議会だより」発行に係る費用は、議員全員で負担してきましたが、令和3年度より市の一般会計予算措置されました。いっそうの紙面の充実を図っていきます。皆さんの声をお待ちしています。

連絡先 0575-33-1122(内410・411) 市議会だより編集委員会

【編集委員：須田盛也(委員長) 松嶋哲也(副委員長) 辻文男 岡部忠敏 永田知子 豊澤正信 服部光由】

みの市議会だより

【No. 04】
美濃市議会
令和3年6月発行



令和3年第1回(3月)美濃市議会定例会について

*新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、定例会が開催されました。

今定例会は、令和3年度予算・条例・第6次総合計画基本構想等について審議しました。

2月26日(金)・・・本会議(議案説明等・議会開会日)

3月11日(木)・・・本会議(会派代表質問2名、一般質問4名)

12日(金)・・・本会議(一般質問3名)

15日(月)17日(水)・・・総務産業建設常任委員会(21案件)

18日(木)19日(金)・・・民生教育常任委員会(17案件)

22日(月)・・・総合計画・地方創生特別委員会(1案件)

24日(水)・・・本会議(採決・議会閉会日)



3月議会 会派代表質問

① 太田照彦議員
会派代表質問(美濃市議会市政クラブ)



② 古田秀文議員
会派代表質問(令和みの)



問：第6次総合計画基本構想はどのようなか。
答：基本理念が「市民と共に創るまち」となり、また、将来都市像は「一人ひとりが挑戦 夢かなえるまち」となった。
問：地域防災の中核となる消防団員が減少にある中、活性化計画を策定され、組織の見直しを進められているが、その概要はどのようなか。
答：第1期計画の主な内容は、団員定数470人から420人とすること、7分団31部体制から7分団26部とすることとしている。
問：感染症対策の決め手となるワクチン接種について、美濃市の接種計画はどのようなか。
答：高齢者接種は、医療機関等の協力で集団接種。一般の方の場合は、集団と個別接種で行う。
問：令和3年度に整備を計画している新たな学校給食センターの整備計画はどのようなか。
答：本年度7月に着工し、令和4年度の2学期から新センターで給食を提供する計画である。
問：学校における国のGIGAスクール構想に基づく、環境整備の進捗状況はどのようなか。
答：1月から児童生徒一人一台タブレット端末を教室や体育館で使用できる環境及び家庭等でリモート授業が可能な環境を整備した。

問：今後の財政状況と運営について。
答：引き続き、厳しい財政運営が想定され、重点事業を見定め、事業の廃止、休止、先送りを含めた事業の抜本的な見直しに取り組み、市にとって必要な事業と投資は積極的に実施し、市民満足度の向上と持続可能な財政運営の両立に取り組んでいく。
問：「ふるさと納税」の返礼品を充実し自主財源の確保につなげてはどうか。
答：提案の「古民家ホテルでの宿泊、紙漉き体験、お土産として地元の名産品」等、複数を組み合わせた返礼品の手法も参考とし、全国納税者の琴線に触れる返礼品提供や、魅力があるのに知られていない返礼品のアピールを様々な方法で実施し、寄附額が1億円を超えるよう、積極的に取り組んでいく。
問：ネットを活用したコロナワクチン接種予約サービスの導入への考えはどのようなか。
答：令和3年度導入するロゴフォームを活用し接種予約、変更、時間枠の空き状況の確認をしていく。使い方に関しては、HPへの掲載や接種券送付時の同封チラシで周知する。また、コールセンターを設置し、相談業務と併せて電話予約も可能とする。

3月議会 各議員による一般質問

③ 豊澤正信議員 (美濃市議会市政クラブ)



問：美濃橋の観光における利活用はどのようなか。
答：新しくなった美濃橋を、観光資源あるいは文化的価値が非常に高い近代化遺産として、より一層積極的に情報発信し、本市への誘客につないでいきたいと考えている。また、歩行者用の照明を設置したことで年間を通じてライトアップ効果も見込まれるので、今後は夜間観光を含め、多くの皆さんに訪れていただければと思う。このほか美濃橋とうだつの上がる町並みなどを結ぶ新たな観光ルートの構築にも取り組んでいく予定である。

問：「美濃市プレミアム付商品券発行事業について」今回の企画において今後に向けての改善すべき点はなかったか。
答：今回の事業について、1点目は引換券を広報の中ページに掲載したことで、わかりにくいという声があり、引換券は目のつく箇所に掲載したいと考えている。また、2点目は販売日時について、販売場所が金融機関の窓口で、銀行、信用金庫、農協では平日の午前9時から午後3時、郵便局では午前9時から午後5時までで、土日祝日の販売はない。今後、実施をする機会には、土日祝日、あるいは夕方以降まで販売する窓口を増やしていく。

⑤ 松嶋哲也議員 (美濃市議会市政クラブ)



■コロナ禍における美濃市の観光について
問：美濃市における観光について、今後どのような取り組みを行っていくのか。
答：「多彩な観光プランの構築」「情報発信力と誘客力の強化」「受入環境の整備」「おもてなし体制の推進」の4つの基本戦略を柱とし、観光資源の発掘や観光関連データの収集と分析等による、体験・滞在型観光を推進する観光プランの構築や、WEBサイトやSNSを活用した情報発信の強化と、多様化する旅行ニーズに対応したセールス活動の展開、滞在時間や観光消費額の拡大につながる観光施設の充実、市民ぐるみでおもてなし体制の強化などに取り組むところである。

■長良川遊水地（美濃市横越）について
問：長良川遊水地計画における調査結果や進捗状況を、市民へどのように周知するのか。
答：長良川遊水地事業を進めるにあたり、これまでも検討内容について適宜説明してきた。今後も必要な調査を適宜行うと聞いており、検討が進む中、かねてより議員から提案いただいたように、影響が大きいと想定される自治会を中心に、意見交換や検討内容について説明していくとしている。

質問の詳細情報は、記載のQRコードより視聴できます。

④ 須田盛也議員 (令和みの)



問：市内に一人しかいない栄養教諭で、十分な食育はできるか。
答：栄養教諭の配置数は、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」により、1500人以下の児童生徒に対応する給食センターには、1人と規定されている。H27年度から児童生徒数がこれを下回ったが、県教育委員会の配慮により2人体制を維持していた。しかし、R元年度から1人体制になり、2人体制に比べると、学校へ巡回して行う食育指導の頻度は少なくなっている。しかし、まずは、国が定めた定数のもとで、安心・安全な給食提供を第一に行っていくことが大切であると考えている。

学校給食の衛生管理を第一に行い、食育については、地産地消、食文化、食への感謝、栄養バランス等の食育に関する内容を盛り込んだ献立作成を行い、児童生徒や保護者に食育の内容が伝わるように努めていく。

食育のさらなる充実のために県教育委員会に対して栄養教諭の増員要望を引き続き行うとともに、国に対して配置定数の見直しを要望していく。

⑥ 岡部忠敏議員 (公明党美濃市議員)



問：行政手続きのオンライン化の推進について美濃市での現在と今後の取り組みはどのようなか。
答：現在、美濃市では、国の「マイナポータル・ぴったりサービス」を通じて、児童手当や保育施設の手続きなど15項目が電子申請できるが、まったく利用されていない状況である。今後、マイナンバーカードの取得推進とマイナポータルアプリのインストールの推奨を図り、利用の促進をしていく。

また、県と連携したラインを活用したオンラインサービスの導入に取り組んでおり、令和3年度の新規事業として予算化している。その内容は、オンライン上で自動対話により、市民からの問い合わせに対して24時間対応するAIチャットボットというサービス。

また、オンライン申請では、各種アンケート調査や申請受付などができるサービスを構築できるもので、現在、施設や粗大ごみの予約手続きなどができるよう、検討を始めているところである。

今後も、市として、行政手続きの更なる利便性向上に向けて取り組んでいく。

QRコードの接続先は、YouTubeの動画配信です。

⑦ 永田知子議員 (明るい美濃)



■美濃市第6次総合計画について
問：パブリックコメントの結果とその内容に対する対応は。それを全ての関係者に公表されるのか。
答：基本構想案5件、基本計画案108件で延べ113件の意見が出された。これらを踏まえ、2月開催の第5回審議会で審議後、答申を受け、ホームページで公開中。基本計画案108件の意見の中にはまちづくり指標関連が61件と、多くあった。

基本計画案は意見がまとまらず、3月再度審議会で協議され、答申後、公表する予定である。

問：基本計画に係る今後のスケジュールは。
答：3月16日 第6回基本計画案の審議の後、市へ答申する予定である。

問：関係者、市民への説明会の予定は。
答：完成後「考える会」参加者には計画書を、市内全世帯には概要版を配布する。

市民への周知を図るために議決後、感染症の状況も見ながら、早い時期に市民向けの説明会を開催する予定である。

多くの市民の参加を期待している。

⑨ 服部光由議員 (日本共産党美濃市議会議員)



問：高齢者福祉施設の職員を対象に予防的なPCR検査を実施できないか。
答：岐阜県は岐阜市と連携し実施するPCR検査の成果を踏まえ検討していくので美濃市もそれに従い対応していく。

問：美濃市健康文化交流センターの開設にともない廃止される施設利用者の移行にはどのような要望があるのか。
答：駐車料金の免除、大型楽器の保管場所、施設の下見や利用説明会を早くできないか、ワクチン接種の間、これまでの施設の利用を延長できないかなどの意見がよせられている。

問：美濃市健康文化交流センターの利用料・駐車料金などはどのようになるのか。
答：原則として受益者負担だが、市の政策に合致するような会議などは一定の運営費補助、また、駐車料金も運営費補助を検討している。

問：新型コロナワクチンの接種会場に予定されているが一般の利用開始はいつか。
答：ワクチン接種の状況によるが、7月からの利用を考えている。

問：生活保護の申請時に親族への扶養の照会を大幅に緩和できないか。
答：厚生労働省の通知に基づき対処する。

⑧ 古田 豊議員 (無所属クラブ)



問：人口の減少が激しい中、強力な人口増対策などできないか。
答：サテライトオフィスの整備に対する支援など都会から田舎への移住の流れの取り組みをさらに推し進めるとともに、新たな人口減少対策に結びつく施策を実施していきたい。

問：財政難の中、大きなイベントの中止は。
答：イベントは市の活性化のための重要な事業であり、今年ではできる限り多くのイベントが開催できるよう願っている。

問：コロナ禍の昨年、全国で小中高生の自殺者が過去最多の479人にのぼり、子どもや子どもを持つ親には中等以上の鬱症状があった。心の支えとなるような支援についてどう考えているのか。
答：コロナ禍の影響かどうか判断は難しいが、当市へは昨年に比べ家庭や学校生活に対する新規の相談が増えている。国や県においては、電話相談や「子ども相談センター」「女性相談センター」といった相談窓口を設置している。

市では家庭相談員を中心に、保健センター・教育委員会と連携し、家庭や学校への訪問・面談など切れ目のない支援の実施に努める。

美濃橋修復完了

国の重要文化財に指定されている国内最古の近代吊り橋「美濃橋」は、大正5年の竣工以来、多くの歴史を刻んできましたが、工事期間5年、総事業費約7億円を費やし、初めてとなる全面修復工事を終え、3月9日によみがえりました。



美濃市健康文化交流センターの竣工

乳幼児から高齢者まで多世代にわたる市民の健康増進、福祉の向上、文化の普及・振興を図り、活力あるまちづくりに寄与するための拠点となる施設として4月に開館しました。

※ ワクチン集団接種会場として使用しているため、6月末まで休館中。

